

logicool

政府機関および公共機関がハイブリッドワーク に移行するための7つのベストプラクティス



政府機関および公共機関がハイブリッドワークに移行するための7つのベストプラクティス

職員に切り替えのための時間を設けてもらう.....	1
職員に仕事用のエリアを定めてもらう.....	2
職員にありのままにいてもらう.....	3
職員によるテクノロジーの導入を支援する.....	4
職員にリマインダーを設定してもらう.....	5
模範を示す.....	6
誰もが同じ状況にいるということを心に留める.....	7

近年、在宅勤務制度を導入する企業が増えています。多くの政府機関および公共機関の職員にとって、これはまったく新しい体験です。オフィスで働く場合と同等の成果を自宅で出せるのか、という不安を抱えている職員は少なくありません。一般の有権者の方々にとっても、ビデオコラボレーションなどのリモートツールで政府機関とつながるというのも、初めて経験することです。

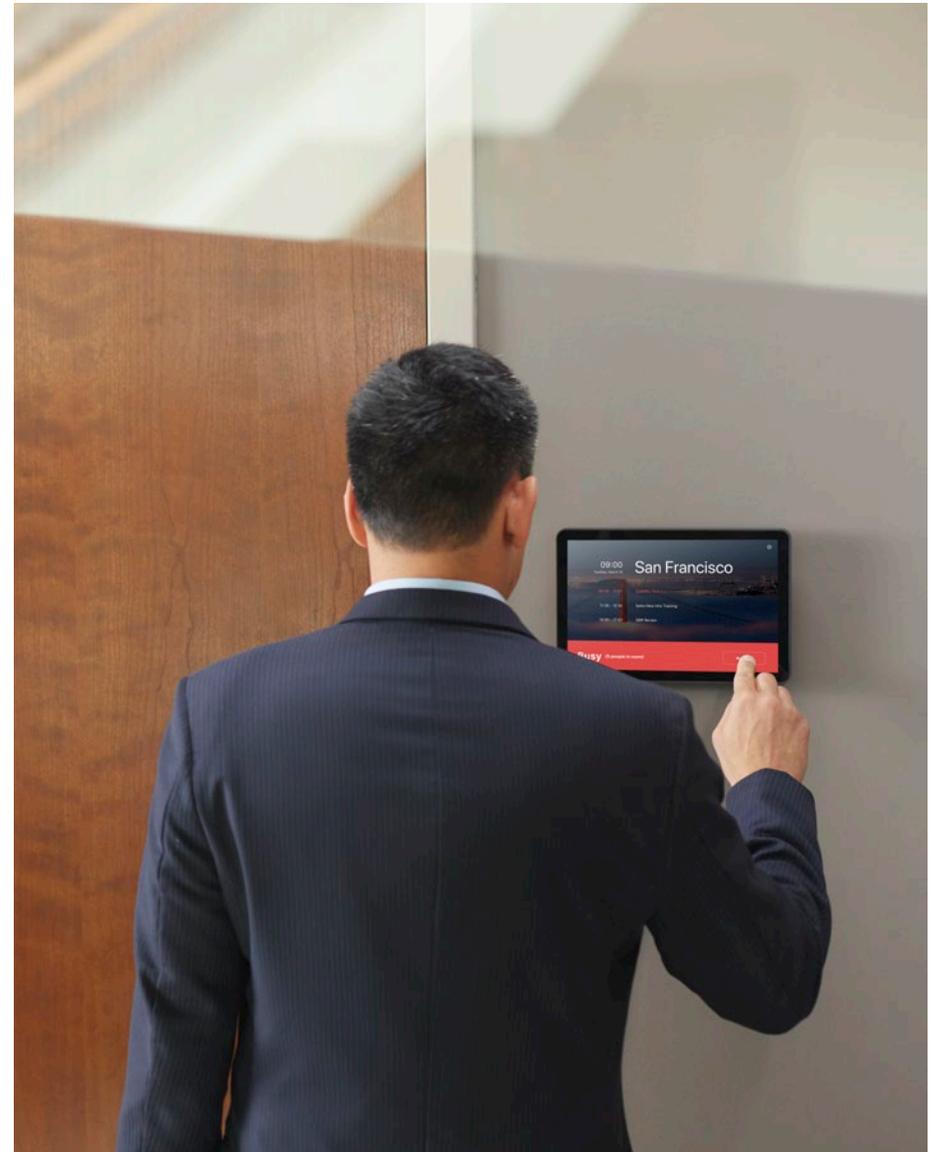
またこれは、政府機関や一部の公共機関の職員に限ったことではありません。医療や教育などの他の重要な社会的機関において、ハイブリッドワークモデルやイノベーション（遠隔医療や遠隔授業など）の導入が進んでいます。これらのモデルは、きわめて望ましいアクセス性、効率性、成果を同時にもたらすはずで

政府機関でも、ビデオコラボレーションなどのリモート関連の取り組みを活用できます。プロセスの改革、サービスへのアクセス性の改善、弾力性の確立および業務の継続、よりサステナブルな環境の構築、効率的なサービスの提供を、各種会議室、法廷、公会堂で実現することが可能です。

しかし、ハイブリッドワークには特有の課題がいくつか付きまといまいます。リモートワークの場合、適切な体制作りや、慣習/行動の見直しを怠ると、職員に混乱、疎外感、挫折感をもたらすでしょう。その結果、会議の成果が上がらず、職員は疲弊するという、危険な状況になりかねません。

また、ハイブリッドモデルでは、オフィス内とリモートからの会議参加者、双方が公平に会話に参加し、意思決定に関与し、サービスを提供できるようにする必要があります。ハイブリッドワークへの移行は、慎重に、熟慮を重ね、一定の原則に従って行うことが求められるのです。

柔軟なハイブリッドワークモデルとリモートコラボレーションへの移行は、今後も加速していくでしょう。このアプローチを採用する組織が日々、増加していることが見て取れるためです。ロジクールのビデオコラボレーションチームは、政府機関およびあらゆる公共機関がこの移行を可能な限りスムーズに実施できるよう、7つの重要なヒントを取りまとめました。



1 職員に切り替えのための時間を設けてもらう

多くの人にとって、オフィスなどの施設と自宅を行き来する時間は、頭の切り替えの時間でした。在宅勤務を始めると、通勤という小さなタスクは重要視されなくなり、むしろなくなってくれてありがたいと思われるでしょう（通勤ラッシュからの解放）。しかし、1日の仕事の合間または後にリラックスするための時間を失うことで、精神面に悪影響の出るおそれがあります。

解決法：1日の始まりと終わりにめりはりをつけるため、深呼吸する、内省する、散歩する、運動する、瞑想する、読書する、さらには仮眠を取るといったさまざまな活動を試すよう、職員に促しましょう。自分に合った在宅勤務時の新しい仕事の進め方を、職員に見つけてもらうのです。

従業員からのヒント

ロジクールグローバルアライアンスマネージャーのBob Kneppelは、オフィスへの通勤に使っていた時間で、ランニングマシンで走ることで、一定の運動量を確保しています。

仕事の後は、新しいレシピを試すなど料理を楽しみ、気分転換を図っています。





2 職員に仕事用のエリアを定めてもらう

どこで働くかは重要です。見たい番組をつい観てしまう誘惑があるTVの前のソファに寝転んだり、くつろいで眠くなってしまったベッドに横たわったりすることも理想的ではありません。働く場所は決めておく必要があります。

解決法：自宅内でエリアを定めてオフィスを設けることが必要であると、職員に伝えましょう。1部屋全体である必要はありません。勤務時間中に集中して仕事に打ち込むためのエリアを、部屋の一角に定めるだけで構いません。

従業員からのヒント

地域ビデオ会議マーケティング担当のAspen Mouldenと、彼女の夫は共に在宅勤務をしています。同じオフィス空間を共有している2人は、良い姿勢を保ち、緊張を和らげ、手首をサポートする縦型マウスとエルゴノミックキーボードを使用しています。気を散らすものを減らすために、アクティブノイズキャンセリングヘッドセットと高度なノイズキャンセリングマイクを備えたオーディオソリューションに投資しました。これによって、周囲の雑音が抑えられ、通話に集中することができます。

3 職員にありのままできてもらう

パジャマを着て仕事をするのは、誰にとっても非常に魅力的なことです。公務員にとっても同様です。ただし、在宅勤務時にも仕事用の服装に着替えることには、実際に心理的な利点があります。また、政府機関および公共機関の職員は、シリコンバレーで働く技術者に比べ、フォーマルな服装をすることに慣れていていると考えられます。同じ組織でさまざまな世代の人が一様に在宅勤務をする時代に入ったことで、オフィスにおけるドレスコードは、あらゆる分野において一変しました。

解決法：ありのままの自分を出しつつ、プロフェッショナルな態度も保つように促しましょう。勤務時の服装に関し、職員には、オフィス、公判、議会、公会堂に行く場合と同様の習慣を継続してもらいます。それに加え、服装選びに柔軟性も取り入れてもらいましょう。この新しい、よりカジュアルなホームオフィス環境では、多数の日常業務を正装して遂行する必要があるとは限りません。適切である場合には快適な服装に着替えることを許容します。



従業員からのヒント

国内アカウントマネージャーのJosh Keelは、日差しの強い地元のカリフォルニア州サンディエゴで、朝の日課（短時間のトレーニング、朝食、シャワー、着替えなど）をビジネスシャツと快適なショートパンツの組み合わせでこなしています。

4 職員によるテクノロジーの導入を支援する

在宅勤務でも、対面のやり取りを犠牲にする必要はありません。ビデオコラボレーションは初めてという方でも、ビデオの力を活用することで、チームメンバー、裁判所職員、市民、他の職員との関与を高めることができます。

解決法：ハイブリッドワークに人間的な温かみをもたらす外付けのウェブカメラへの投資を、職員が簡単に行えるように支援しましょう。ビデオを通じた会議は対面会議と同様のメリットを提供し、会議に直接参加しているかのように感じられます。[RightLight](#)などの革新的なロジクールソフトウェアは、あらゆる照明環境下でプロフェッショナルな映像を提供し、職員をいつでも最高に魅力的に映し出します。

従業員からのヒント

ロジクールに入社するまで、チャンネルマーケティングマネージャーのJenn Jakubowiczのリモートワーク体験は、オーディオのみでした。会議参加者の身振り、表情、感情をリアルタイムで見ることで良好な人間関係を構築し、信頼を築くことができるビデオの利点に気づいたとき、Jennのビデオ嫌いは解消しました。





5 職員にリマインダーを設定してもらおう

ドリンク休憩は、オフィス勤務でも在宅勤務でも同様に重要な時間です。休憩時間を十分に取り、労働時間がプライベートな時間に影響しないようにすることをお勧めします。

解決法：スマートウォッチ、フィットネストラッカー、アラームでリマインダーを設定して、時間通りに行動してもらいましょう。これにより、休憩時間になったら、定められたワークスペースを離れてリラックスおよびリフレッシュしてもよいことが通知されます。

従業員からのヒント

重要顧客をリモートで管理している、国内アカウントマネージャーのEric Meyerは、8～9時間連続で通話をするのがよくあります。Ericは2時間ごとにスケジュール表を区切り、15分の休憩を取ります。こうした規則的な小休憩を挟むことで、Ericは絶え間ない会議による悪影響を防止する、健康的な習慣を手に入れたのです。

6 模範を示す

「模範を示す」と口で言うのは簡単です。今こそ実践に移すべきときです。

解決法：バランスを取りながら、今日の新しい働き方の導入方法を職員に示します。休憩時間の設定、体調管理、ビデオを通じた職員との関与は、つながりの実感を強め、孤立感を軽減します。

従業員からのヒント

南北アメリカ地域のビデオコラボレーション責任者である Ricardo Santos は、環境に関係なく、常にビデオを利用しています。彼は、魅力的で健全な作業環境を作り出すことを重視しています。Ricardo は明確なワークライフバランスを確立し、模範を示すことでチームもそれに倣うよう促しています。





7 誰もが同じ状況にいると いうことを心に留める

2017年に、[Robert E. Kelly教授](#)がBBCの生放送中に子供たちに邪魔されたのを覚えているでしょうか。これは、SNSで広まった最も有名な在宅勤務の一例です。しかしこれは重要なことを示しています：オフィスにいたとしても、仕事に声をかけられて集中力がきれたり、仕事を中断することはあるのだから、在宅勤務中に同じことが起きて大丈夫、ということです。

あなたの子供たちが仕事用のエリアと決められた所に入ってきたり、飼い犬が外でリスと喧嘩しても、それは当然のことです。私たちはこうした妨害を受け入れて、私たちは皆人間であることを理解する必要があります。

重要なポイント

ハイブリッドワークが急発展する中、この新しい働き方を広く導入し、なじませるには、ある程度長期的な努力が必要になるでしょう。結局のところ、私たちはまさに皆この状況にいるため、お互いに助け合わなければなりません。

ハイブリッドワークを健康的かつ生産的な体験にするときが来たのです。リモートワークの利点を享受し、妨害を受け流す、適切なワークライフ バランスを維持する、カメラに向かって笑顔を見せるなど、より積極的に仕事に取り組みましょう。

ロジクール ビデオコラボレーション
ソリューションで、より良いハイブリ
ッドワーク体験を生み出しましょう。
詳細はこちら。 www.logicool.co.jp/vc



logicool

www.logicool.co.jp/vc

販売代理店または当社 (www.logicool.co.jp/vcsales) までお問合せください

株式会社ロジクール

購入前のお問い合わせ：

株式会社ロジクール

<https://www.logicool.co.jp/ja-jp/video-collaboration/help/contact-sales.html>

購入後のお問い合わせ：

株式会社ロジクール カスタマーリレーションセンター

<https://prosupport.logi.com/>

© 2022 Logitech, Logicool. All rights reserved. 株式会社ロジクールは、Logitech Groupの日本地域担当の日本法人です。記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。その他の商標はすべて、それぞれの所有者の財産です。ロジクールは、この出版物に存在する可能性のある誤記に対して一切責任を負うことはありません。本書に含まれる製品、価格設定および機能情報は、予告なく変更される場合があります。